

サマリー

活発化する中国石油メジャーの海外投資

戦略・産業ユニット 石油・ガス戦略 G 主任研究員 郭 四志

中国版 2 大メジャーである CNPC(中国石油天然ガス集团公司)、Sinopec (中国石油化工集团公司) は国際石油・エネルギー市場における新しい重要なプレイヤーとして、成長しつつある。近年、中国石油企業の活発な海外投資・資源開発活動ならびにその影響は一段と多くの注目を集めている。

海外資源開発の主な担い手である CNPC、Sinopec は、それぞれの経営資源の特性により、その海外展開・資源開発活動を推進してきた。中国石油企業の海外展開は主として資源探求・開発型直接投資により進められてきた。

CNPC が 1992 年に行ったカナダのアルバータ州 North Twing 油田に対する海外業務展開は、中国石油産業における海外進出の幕を開けた。2006 年末までに、30 カ国において 70 数件のプロジェクトを契約・実施しているが、その殆どは石油探鉱・開発プロジェクトである。2006 年に同社原油と天然ガスの海外生産量は、対前年比各々 79% 増の 5,450 万トン、61% 増の 57 億 m³、そして権益量は各々 40.2% 増の 2,807 万トン、20.7% 増の 35 億 m³ となっている。

一方、Sinopec の石油・ガス上流部門における海外進出・展開は CNPC より大幅に遅れている。1990 年代以降、海外からの輸入原油への依存度が年々高まる中、Sinopec は、海外原油の確保、上流資産を拡大するために海外油田での探鉱・開発が重要な課題となった。同社も海外進出を 2000 年に入って以降、本格的に開始した。近年、Sinopec は海外での探鉱・開発を加速し、中東、アフリカ、アジア、中央アジア・ロシア等へ積極的に進出している。2006 年末時点で海外投資件数が 40 件以上に上り、累計確認原油・ガス埋蔵量は各々 5.4 億トン、1,305 億 m³ となり、海外原油・ガス生産量は各々 377 万トン、4.8 億 m³、権益原油は 88 万トンとなっている。

両社に共通してみられる海外展開の主な特質は、中国政府の戦略(「走出去」・石油安全保障)の下、活発な資源外交と政府による優遇策・措置により促進されたことである。但し、両社の海外展開の事業活動は、国家自身の行為というよりも、企業自身の経営・生産国際化に向けた行動によるところが大きい。

今後、中国の堅調な経済成長に伴う石油・エネルギー需給ギャップの拡大により、CNPC、Sinopec 両社は、海外資源獲得の活動・投資はより活発化していく。そうした中、両社は国際競争の激化、現地の投資リスクなど諸問題に直面せざるを得ない。それをいかに乗り越え克服するかが、両社にとって重要な課題となる。

お問合せ : report@tky.ieej.or.jp